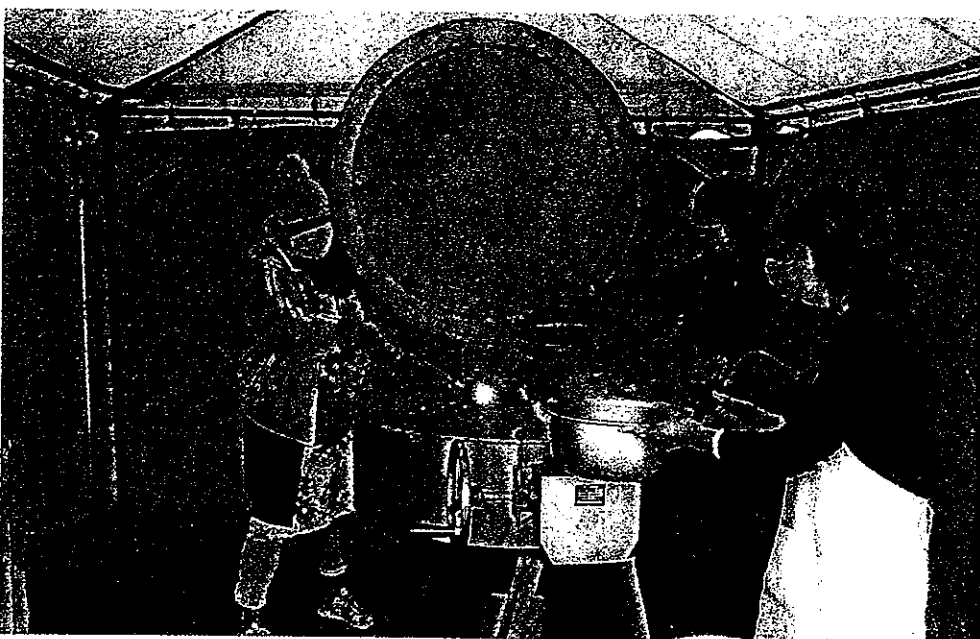


千葉県社会福祉協議会
貝塚地区部会だより
第十五号
令和2年3月1日
発行 千葉県社会福祉協議会 貝塚地区部会
発行責任者 飯原 優
事務局 千葉県若葉区貝塚町1051



「思いがけない台風災害から」

地域の支え合いに向かつて

貝塚地区部会 部長 飯原 優

自然災害の備えについては、何年も前から叫ばれ、ハザードマップの配布も行われていたが、当貝塚地域は安全な地域との気持ち強く、災害に対する備えは十分とは言えなかったと思います。

千葉を襲った台風十五号は記録破りの暴風となり、貝塚地域でも建物の被害に加え、思いがけない停電や断水となった方々の早い回復を願います。この被害からあらためて防災への意識を高めたと思います。また台風通過後の公助の不手際なども伝えられたことで、千葉全体が災害への対応力を問われています。

台風や地震の被害場所では、国や自治体等の公助やボランティア活動に加え、地域住民の行動が報道されます。その地域に自主防災組織があれば、被害程度によって対応は異なるもの、身近な住民の活動(自助・共助)が注目されます。今後は実践的な防災への備えが必要と感じま

た。近隣の人たち同士の間助行動は、普段から近所の住民が声をかけ合い、助け合うことができる良い関係にあるからですね。

当貝塚地区部会では、十二月一日最大の地域行事を開催しました。①「健康セミナー」脳トレ体操で手足をほぐし背筋を伸ばします。②運動後は「芋煮会」会員のご支援で頂いた野菜をたっぷり入れた、大釜で作る芋煮を大勢で腹いっぱい食べました。前日の準備から当日美味しく煮ていただく、婦人方の活躍に感謝です。初登場の綿あめやポップコーンも大人気でした。広場では子どもたちが輪投げや折り紙などで遊び、午後に入り③ジャズバンド「フォースアベニュー」の演奏が始まると、歓声と手拍子で盛り上がりました。今回も充実した素晴らしい開催となりました。高齢者から若いご夫婦と子どもたちなど、幅広い世代の方々が多く参加し、地域住民が集い楽しく語らう大切な機会となっております。この様な取組みを充実し



ていくことによってイザという時、助け合う心が育まれると確信いたします。

この芋煮会の他にも、高齢者が集ういきいきサロン「貝塚くらぶ」や子どもたちと楽しく過ごす「お話し会」を開催。社会福祉協議会が推進する支え合いのまち計画に沿って、ボランティア活動に取り組んでいます。

住みやすい環境づくりに、皆さんと一緒に助け合いの輪を広げて参りましょう。

▼防災について

第一町内会会長 山井 博

昨年は「平成」から「令和」と新しい時代がスタートしましたが、一方では、台風や大雨により建物の損壊や土砂災害、浸水被害、停電や断水等が発生し大きな被害を受けました。そして昨年ほど防災が必要だと強く感じた年はありません。

私共、第一町内会は平成二十七年に防災会を設立しました。防災



会の役員十名と各組から十名の二十名で年に三、四回の防災会議を行い意見交換をしております。又、年に数回の防災ニュースの回覧をしています。

平成二十八年七月十七日には、高品公園にて第二回防災訓練を行い、参加者は八十五名でした。

若葉消防署桜木出張所より消防車二台とスタップを派遣して頂きました。訓練の内容は消火器、AED、三角巾の取扱い指導を受け、町会のメンバーも積極的に実技に参加し、子供達も消火器訓練をしたり、大人でも大変なAEDに挑戦する等、町会として大変成果のある防災訓練ができたと思います。

平成三十年七月八日高品公園にて第二回防災訓練を行いました。猛暑の中、八十名の参加がありました。特に防災普及公社の起震車では、震度6強の体験ができ、改めて地震の恐怖を感じました。

千葉市から町内会に対して防災用の補助金を頂いており、その他に町内会費の防災対策費として支出しております。

第一町内会の備品整備の目標として

- ①災害用のトイレの確保
- ②発電機(飲料水用)の設置
- ③缶入ビスケットを毎年100缶ついで5年で500缶の備蓄(世帯2缶の配布目標)
- ④一般用水として100L(500L×2基)の設置
- ⑤黄色のタオル(安否確認タオルの配布)

⑥役員の腕章整備
以上の整備充実を目標に、今後もより一層災害に強くなれるよう努めてまいります。

▼十年目を迎えて思うこと

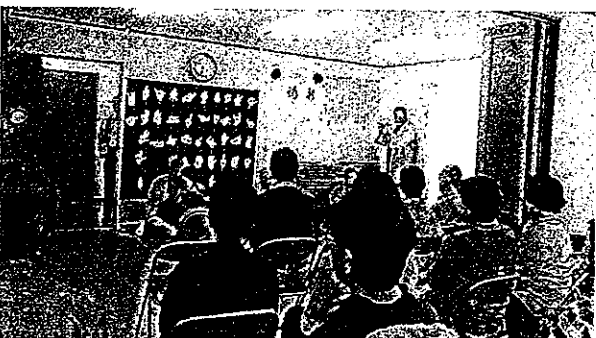
民生委員 足立 静

えつ、もうそんなに経ったのか...と思うと同時に、地域の皆さんのお役にたっていたのだろうかという想いの中、考えている事が一点あります。

私達民生委員主任児童委員は、本当は毎日忙しくてしているよりも、月末集計の時、活動日数が少なかったなあとと思う事の方が良いのかもしれない。

私が担当しているご家庭の中には、二代三代同居されているところもあり、一番安心して生活できる環境かと思えます。そのような形態が増えると嬉しいですね。

しかし全体の高齢化がすすんでいて、新しく仲間入りする家庭もなく、戸数は変わらないものの平均年齢は上がっている状態です。



私自身もそろそろお世話になる側になってきているのに、次に引き受けて下さる方がおられません。今回も後任がみつからずに欠員一名でスタートしました。高齢化のすすむ中、どのように選出していくのかを考えていく時期に来ているのかなと思います。

民生委員、主任児童委員は、地域の中で大切な役割を担っています。この仕事に喜びを見出し、ぜひ協力したいと言ってくれる方が出てくれる事を願っています。

「昨年より「貝塚くらぶ」という、高齢者の皆さんを対象としたサロンを開いています。少しでも楽しいひとときを過ごしてほしいという思いですが、まだ手探りのところも多く、集まって下さる人数が少なく、お世話係の方が多かつたという事もありました。

私達も、地域の皆さんが心待ちにしていただけのように、話し合ったり、まわりの方々からアドバイスをもらいながら、内容の充実をはかっていきたいと思えます。乞う御期待！がんばります！

▼子どもの笑顔を見守ろう

主任児童委員 千脇 由美

主任児童委員として10年目を迎えました。主任児童委員の仕事は、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように見守り、相談に応じて必要な制度やサービスにつなげる役割を担っています。



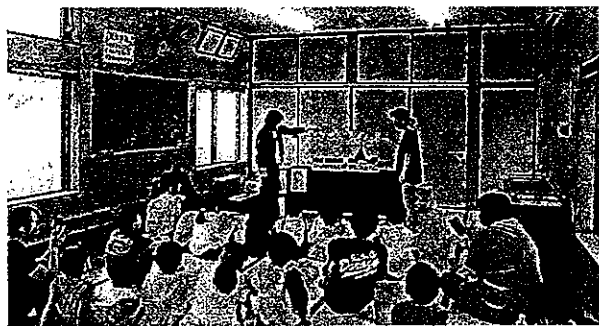
れ合う事ができ、地域の方々の笑顔も溢れていました。

地域で開催された太巻寿司の講習会は、昨年に引き続き参加しました。細巻きの小さなパーツを次々と作り、重ねてあつという間に太巻が出来、包丁でカットしたらきれいなお花模様に仕上がりました。幼い頃、お正月やお彼岸などの親戚の集まりにはかかせない馳走だった事も思い出し、懐かしく、伝統料理の大切さを実感しました。

福祉活動については、まだ学び始めたばかりです。地域内で人と人がふれあう交流の場が増えるお手伝いを、出来る事から少しずつ進めて行きたいと思えます。

令和元年度 千葉市民児協永続民生・児童委員表彰 千葉市社会福祉協議会会長表彰

令和元年10月31日(木)千葉県文化会館において千葉市民児協永続民生・児童委員表彰、また、11月22日(金)ハーモニープラザ多目的ホールに



近年、親からの虐待を始め、いじめや不登校等の問題が複雑化、深刻化しています。私自身、主任児童委員の研修、会議、施設見学を通して考えさせられることも多いのですが、特に重視していることは虐待についてです。

ニュースや新聞等による痛ましい事件が報道される度に、何とか救うことができたのではないかと思います。虐待が起る主な要因は、核家族による育児の孤立や地域からの孤立、育児不安や経済的不安、精神的不安などが挙げられます。

虐待は表面化することは少ないので見落としがちですが、いつも子どもが泣き叫ぶ声がある、不自然な打撲等の跡がある、親の怒鳴り声が聞こえる、幼い子どもを家に残したまま度々外出しているなど、気づいた際は児童相談所全国共通ダイヤル(189)「いち・はやく」千葉市児童相談所(043-277-8880)に連絡して下さい。通告や相談は匿名で行うこともでき通告、相談した人に関する個人情報を守られます。

行事報告

石橋 浩 (民生・児童委員)
足立 静 (民生・児童委員)
千脇 由美(主任児童委員)

- 5月18日 総会
- 5月19日 いきいきサロン貝塚くらぶ
- 6月22日 いきいきサロン貝塚くらぶ
- 7月20日 おはなし会 貝塚町東部自治会館
- 9月16日 敬老会 貝塚町東部自治会
- 9月29日 いきいきサロン貝塚くらぶ
- 10月20日 敬老会 貝塚第三自治会
- 11月16日 いきいきサロン貝塚くらぶ
- 12月1日 健康セミナー・いも煮会
- 12月14日 おはなし会 貝塚第三自治会館
- 2月16日 太巻き寿司 貝塚第三自治会
- 2月22日 いきいきサロン貝塚くらぶ

子育ては親が一人で悩み責任を負うことではありません。家族や地域を巻き込んで共に子育てを楽しみましょう。子ども虐待の防止は児童相談所や市町村の公共機関だけが行うことではなく、同じ地域に暮らす一人一人が「子育てに優しい社会」を作ることを目指します。未来ある子どもたちの笑顔を見守りましょう。

▼福祉活動推進員の活動について

福祉活動推進員 植草 清美

福祉活動推進員をお引き受けして二年になります。福祉活動推進員は四名で、活動内容は年三〜四回の地域住民の福祉に関する研修に参加しています。

研修内容は「ふれあい・食事サービスの食中毒予防について」「千葉市のひきこもり支援について」「は支援の現状の事例を通してひきこもりの方への理解促進などを学び、「地域のサロン活動に活かす傾聴」は実践的内容について講義がありました。

その他、十二月に開催された健康セミナー「ジャズバンド「フォースアベニュー」の演奏会」羊煮会に参加しました。食・芸術・文化・健康についてふ

編集後記

社会福祉は、皆様のご理解とご協力が必要で、推進することが出来ます。貝塚地区部会では、羊煮会・いきいきサロン「貝塚くらぶ」・お話し会等の諸活動を展開しております。

地域の皆さんのふれあいや繋がりによって明日の地域が生まれることと思えます。さらに互近助(ご近所)同士の協力や絆が何より大切です。

地域での催し等を紹介する事を基本として「社協だより」を編集いたしました。

令和の時代もスタート！貝塚地区はワンチーム、今後ともよろしくお願いたします。

事務局長 石橋 浩

